

「ヒト iPS 細胞を用いた腎疾患および肝疾患の創薬研究」について

(1) この研究の目的と意義について

遺伝性疾患である Alport 症候群は、進行性の慢性糸球体腎炎から末期腎不全に進行する腎病変と難聴、眼合併症を呈する難病です。また、遺伝性疾患である成人型シトルリン血症は、高アンモニア血症、肝性脳症などを来す先天性尿素サイクル異常症です。また、成人型シトルリン血症は、脂肪肝から脂肪性肝硬変に至る非アルコール性脂肪肝炎（non-alcoholic steatohepatitis; NASH）を合併する難病でもあります。本研究では、以前に Alport 症候群、成人型シトルリン血症、NASH の患者さんから血液や皮膚の組織を提供いただき、そこから作製した iPS 細胞を腎臓や肝臓に変化させることによって、患者さんの体の中で起こっている病気の解明と新しい治療薬を開発することを目指します。

(2) 研究の方法について

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院の医の倫理委員会で承認された別の研究計画（受付番号：R91/G259）にご参加いただいた Alport 症候群、成人型シトルリン血症、NASH の患者さんから作製した iPS 細胞等を腎臓や肝臓に変化させることによりこれらの病気を再現するモデルを作製し、そのモデルを使って病態形成に関係する遺伝子を見つけたり、共同研究機関（企業）が所有する治療薬の候補の病態形成に対する治療効果を調べます。

研究期間 : 2019年4月1日～2022年3月31日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者 : 増殖分化機構研究部門・教授・長船健二

研究で利用する試料・情報等の項目	<p><試料></p> <p>先行研究 R91/G259 で樹立した Alport 症候群、成人型シトルリン血症、NASH の患者由来 iPS 細胞および健常者 iPS 細胞や市販試料から樹立した健常者 iPS 細胞とそれらから遺伝子改変をした iPS 細胞、あるいはそれらの iPS 細</p>
------------------	--

	胞からの分化細胞 <情報> 診断名、年齢、性別、検査結果(遺伝子検査(iPS細胞から作製した分化細胞のマーカー遺伝子の発現確認など)、画像検査など)
試料・情報の利用目的及び利用方法	Alport 症候群、成人型シトルリン血症、NASH の患者由来 iPS 細胞等を腎臓や肝臓に変化させることによって、病気を再現するモデルを作製し、それを用いて病気が起こるメカニズムや治療薬の開発研究を行う。
試料・情報を利用する者の範囲	京都大学 iPS 細胞研究所 共同研究機関(企業)
他機関へ提供する試料や情報等	<試料> 試料の提供はしない <情報> 共同研究先から受け入れた研究員が、長船研内のみで利用する
他機関へ提供する方法	<試料> 試料の提供はしない <情報> 共同研究先から受け入れた研究員が、長船研内のみで利用する
提供先における試料・情報の管理責任者	機関名：該当なし 研究責任者：該当なし

(3) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(4) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(5) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象者に該当する方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(6) 連絡窓口

京都大学 iPS 細胞研究所 CiRA 倫理審査委員会事務局

電話番号：075-366-7008

受付時間：平日 10:00～17:00

Eメール：ips-ethics@cira.kyoto-u.ac.jp

期 日：2019年7月22日17時まで(原則として、情報公開から2か月間)

以上